

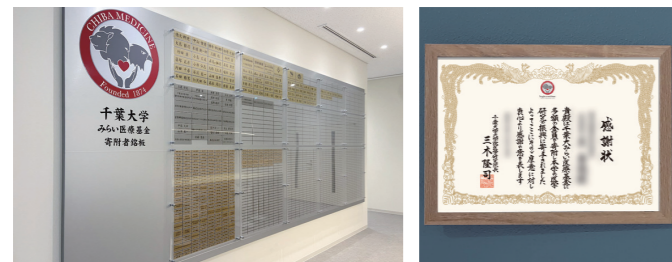
税法上の優遇措置

◆ 個人のご寄付

所得税の課税所得からの控除があります。寄付金が2,000円を超える場合、それを超えた金額が当該年の総所得から控除されます（確定申告によりお手続きください）。詳しくはお住まいの都道府県・市区町村にお問い合わせください。※控除対象となる寄付金額は、総所得金額等の40%が上限です。※12月中のクレジットカード決済でのご寄付は決済システム設計の都合で、領収書発行は、2月末にお届け予定となりますのでご了承ください。

顕彰制度

感謝の気持ちを込めて、寄付金額に応じて新医学部棟（治療学研究棟）4Fラウンジにて、ご芳名を刻印した銘板の掲示や記念品の贈呈をさせていただきます。また、ご寄付いただいた方には謝恩会へご招待するなど、各種、基金室より特別案内をしております。



新医学部棟4Fラウンジに設置する寄付者顕彰銘板

感謝状

◆ 法人のご寄付

千葉大みらい医療基金に対する寄付金は、損金算入限度額にかかわらず、全額損金算入が認められます。

一般の寄付金は法人税法上の損金（経費）として計上できる限度額が設定されていますが、千葉大学への寄付金は、法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄付金として財務大臣から指定されております。これにより、企業の税負担を軽減しながら社会貢献活動を行うことができます。

| 謝意 | 個人 | 法人 |
|------------|--------|--------|
| 感謝状 | 100万円～ | 500万円～ |
| 銘板（大）の掲示 | 100万円～ | 500万円～ |
| 銘板（中）の掲示 | 50万円～ | 200万円～ |
| 銘板（小）の掲示 | 10万円～ | 50万円～ |
| オリジナルピンバッジ | 3万円～ | 10万円～ |
| お名前をHPへ掲載 | 希望者全員 | 希望者全員 |

ご寄付のお申し込み方法

◆ 書面によるお申し込み

千葉大みらい医療基金の指定する当プロジェクト専用の払込取扱票に必要事項をご記入し、お近くの金融機関でお振込み手続きをお願いいたします（追加の払込用紙をご希望の方はお気軽にお問い合わせください）。

◆ WEBサイトからのお申し込み

パソコン・スマートフォンからのご寄付ができます。下記2次元コードよりお手続きをお願いいたします。

<https://www.mirai-fund.chiba-u.jp/method/web.html>

または「千葉大みらい医療基金」で検索

[千葉大みらい医療基金](#) 🔍



ご不明な点がございましたら、基金室までお気軽にお問い合わせください



千葉大学大学院医学研究院・医学部

千葉大みらい医療基金

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1 医学部4F

☎ 043-226-2286

✉ chiba-med-funds@chiba-u.jp

🌐 <https://www.mirai-fund.chiba-u.jp/>



資料請求／お問合せ



begin.continue

千葉大学大学院医学研究院・医学部

千葉大みらい医療基金

Chiba University Futuristic Medical Fund

一人ひとりに合った治療を目指して
肝がん個別化医療と新たな治療法の開発

千葉大学大学院医学研究院 消化器内科



Background

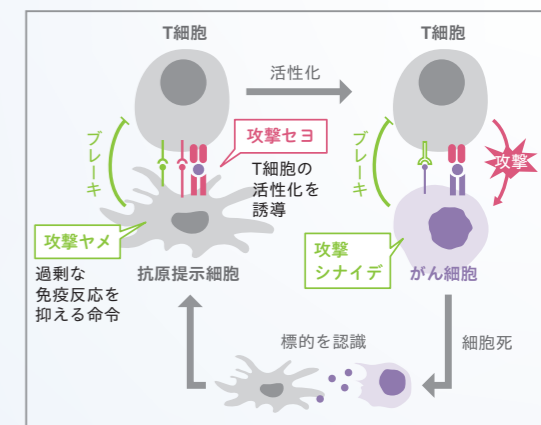
研究背景

がんは命に関わる深刻な病気ですが、医療の進歩により、さまざまな治療法が開発されてきました。現在のがん治療には、外科手術、抗がん剤、放射線治療に加えて、免疫療法と呼ばれる新しい治療法も加わりつつあります。これにより、患者さん一人ひとりに合った治療を選べる時代が近づいてきています。

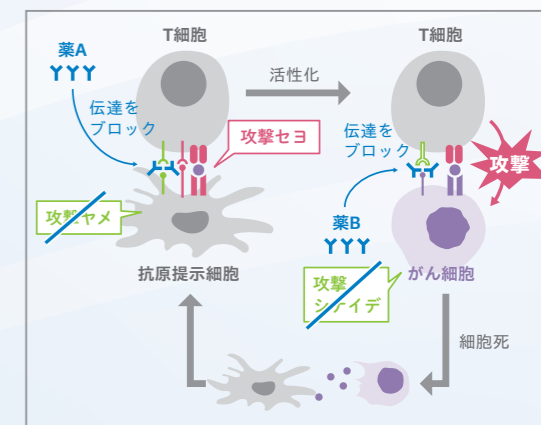
なかでも、「免疫チェックポイント阻害薬」という薬は、体の免疫細胞が本来持っている力を引き出し、がん細胞を攻撃できるようにする治療として注目されています。こうした治療は、これまで治すことが難しかった肝がんに対して、新たな選択肢となる可能性を広げています。

しかし実際には、こうした治療がすべての患者さんに効くわけではなく、効果が出にくいケースも少なくありません。その理由を明らかにし、より多くの患者さんに効果のある治療法を届けるためには、がん細胞そのものだけでなく、がんの周囲にある組織や体内の環境まで含めて詳しく調べる必要があります。

私たちは、このような複雑な仕組みを丁寧に解き明かすことで、「なぜ治療が効かないのか」「どんな患者さんに効きやすいのか」といった疑問に答え、より効果的で無駄のない新しい治療法の開発につなげていきたいと考えています。



免疫細胞ががん細胞を攻撃する仕組み
過剰な免疫反応を防ぐため、
アクセルと同時にブレーキも働く



免疫チェックポイント阻害薬の作用の仕組み
T細胞へのブレーキ命令をブロックすることで、
がん細胞への攻撃性を高める

Message

ご支援のお願い

がん治療は日々進歩していますが、肝がんは、今もお治療が難しく、多くの患者さんが命と向き合っています。近年では「免疫チェックポイント阻害薬 (ICI)」を含む複数の薬剤を組み合わせた治療法が登場し、新たな治療の柱として期待されています。

しかしながら、すべての患者さんに同じように治療が効くわけではありません。中には、治療の効果が現れにくい方もおられます。その理由は一人ひとりの体の状態やがんの特徴によって異なり、今もわかっていないことが多く残されています。だからこそ、治療の効きやすさの違いを解き明かし、より多くの患者さんに合った新しい治療法を見つけるための研究が必要です。

私たちは、実際の患者さんからご提供いただいた血液や組織などをもとに、がんの性質を詳しく調べ、治療効果を高めるための新たな方法を開発しようとしています。こうした研究を進めるためには、専門的な設備や高額な解析費用が必要であり、皆様からのご寄付が大きな支えとなっています。

肝がんという難しい病気に立ち向かうために、そして一人でも多くの患者さんの未来を照らすために、皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

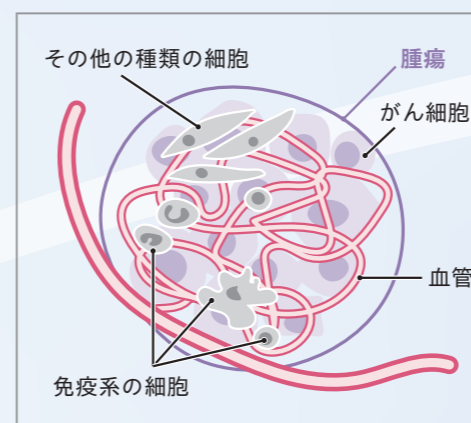


千葉大学大学院医学研究院
消化器内科学 講師

小笠原 定久

R&D and Social Implementation

皆様からのご支援を活用した研究開発と社会実装



がんの周囲にある組織や体内の環境等の条件が複雑に絡み合い、治療の成否に影響する

肝がんは、今もお治療が難しいがんの一つとされています。早期発見が難しく、見つかった時にはすでに治療の選択肢が限られていることも少なくありません。私たちは、そうした現状を変えるために、日々研究に取り組んでいます。

本研究では、患者さんからご提供いただいた血液や組織をもとに、がんの性質や治療への反応を詳しく調べています。治療が効きにくい理由を解明し、一人ひとりに合ったより効果的な治療法を開発することが私たちの目標です。

約500名の方のご協力を予定しており、特に遺伝子レベルでの解析には高度な技術と多くの費用が必要です。今すぐにも新しい治療が必要な患者さんがいるなかで、研究のスピードを保ち、成果を一日でも早く届けるためには、皆様のご支援が欠かせません。

新しい治療の選択肢をつくり、より多くの方に届けるために——
この研究の意義をご理解いただき、温かいご支援を賜りましたら幸いです。